

報道関係各位

公益財団法人日本ライフセービング協会

ドーピング防止の基礎知識が学べる WEB サイト『クイズで学ぼう！アンチドーピング』を公開 ライフセービングスポーツでもアンチ・ドーピングを啓発

公益財団法人日本ライフセービング協会 (=JLA 東京都港区浜松町 2-1-18 理事長/入谷拓哉)は、スポーツに関わる全ての方がドーピングに関する出来事を自分事に感じ、ドーピングを防止するための知識や日常生活での取り組み方法を習得し、クリーンなスポーツ活動の普及することを願い、デジタルコンテンツ『クイズで学ぼう！アンチドーピング』を制作しました。この教材はパソコン・タブレット端末とネットワーク環境があれば、どなたでもクイズに答えることでドーピング防止について学ぶことができます。『クイズで学ぼう！アンチドーピング』は日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成 (<https://www.jpnsport.go.jp/sinko/>)により、ジンマイクデザイン合同会社の協力で制作しています。



<https://ls.jla-lifesaving.or.jp/lifesaving-sports/anti-doping/quiz/>

●『クイズで学ぼう！アンチドーピング』の内容

年齢カテゴリーを一般編とジュニア編(小学生以上を想定)に分けることで幅広い世代の方へ理解を深められるようにしています。一般編は5問、ジュニア編は4問のクイズが用意されており、問題に正解することではなく解説を通して理解してもらうことを目標としています。

【一般編】

ドーピング防止に努める目的やドーピング検査の対象となる選手、ドーピング禁止物質を定める世界共通の禁止表への理解など、選手だけでなくチームスタッフも知ってほしい内容が解説されています。

【ジュニア編】

学童期からのスポーツにおけるドーピングが悪いことである認識、日常生活で薬を使う際にドーピングにならないように気をつけること、ドーピング防止へアドバイスをくれる専門家の紹介などを解説しています。

●アウトリーチプログラムの感染防止対策へ

JLA では 2013 年から大会会場に特設ブースを設置して選手やサポートスタッフに対してドーピング防止活動について知ってもらうアウトリーチプログラムを実施しています。これまでのアウトリーチプログラムの運用方式は紙媒体のクイズ冊子を受講者に解答してもらう対面方式を実施していました。大会開催にあたっての感染症防止対策に従い受講者への三密の回避は必須になり、教育資材を紙媒体からデジタル化することで受講者への感染リスクの低減を目的としています。デジタル教材の受講時は個人のスマートフォンもしくはタブレットから所定の URL へアクセスすることで受講でき対面方式を防ぐことができます。複数名の受講の場合は1グループ数名で間隔を空け、デジタル教材の映像をプロジェクターからの投射や大型モニターへ映して受講を想定しています。スポーツ庁の作成した「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」^{※1}に基づいた運用方式の実現が可能となります。



●ドーピング防止活動の普及

ドーピング防止活動の普及はクリーンで公正なスポーツの価値を守ります。ドーピング防止活動の一つとしてスポーツファーマシスト^{※2}との連携は有益と考えます。クイズで学ぼう！アンチドーピングのイラストには漫画コンテンツ「ドーピングガーディアン 緑川雅は見逃さない！」^{※3} (<https://note.com/dopingguardian/n/ncfcfdd6118b6>) のキャラクターを採用しています。この漫画コンテンツはスポーツファーマシストが主人公であり作中にスポーツファーマシストが地域の薬局で活動していること、ドーピング禁止物質の有無の判断や薬に禁止物質が含む場合の代替薬の相談などのドーピング防止活動に有用な内容が紹介されています。

アウトリーチプログラムではドーピング防止の基礎知識の取得を目指し、漫画コンテンツを通じて選手、サポートスタッフはそれぞれが拠点とする各地域にドーピング防止に精通した薬の専門家がいることを知り、身近にアドバイスを受けられる環境に繋がることを期待します。

. . .

※1 社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン
スポーツ庁 令和2年5月14日（令和3年2月17日改訂）

https://www.mext.go.jp/sports/content/20200514-spt_sseisaku01-000007106_1.pdf

※2 スポーツファーマシストとは(スポーツファーマシスト公式サイトより)

公認スポーツファーマシストは、最新のドーピング防止規則に関する正確な情報・知識を持ち、競技者を含めたスポーツ愛好家などに対し、薬の正しい使い方の指導、薬に関する健康教育などの普及・啓発を行い、スポーツにおけるドーピングを防止することを主な活動とします。薬剤師の資格を有し、所定の課程を修めた方が、(公財)日本アンチ・ドーピング機構より認定される資格制度です。

※3 ドーピングガーディアン 緑川雅は見逃さない！

原作：清水雅之（薬剤師・スポーツファーマシスト）

漫画：油沼

<https://note.com/dopingguardian/n/ncfcfdd6118b6>

このリリースに関するお問い合わせ・取材申し込みは、公益財団法人日本ライフセービング協会・広報室 press@jla.gr.jp まで

105-0013 東京都港区浜松町 2-1-18 トップスビル TEL.03-3459-1445(平日 12:00-18:00) FAX.03-3459-1446

<https://jla-lifesaving.or.jp/>



水辺の事故ゼロをめざして
日本ライフセービング協会

